

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 基礎学力の定着
- 子供にとって楽しい学校
- 相手の気持ちがわかる子供に
- 地域に誇りをもってほしい

【学校教育目標】

21世紀に生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成

【めざす児童像】

—たくましい子、やさしい子、考える子—

前年度の学校評価

- 学力向上の取組のひとつに自学力を。
- 学校職員が一体となって、子どもの教育に取り組んでいる。
- 地域での体験活動や出前授業で教科書で学べない学びを今後も。

児童の実態

- 学校では時間を守って行動できる
- 相手の個性を尊重できる
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 家庭学習の定着率が低い

重点目標

開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

たくましく健やかな体

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

大きく豊かな心

- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎インクルーシブ教育の普及
- 道徳・人権教育の充実

確かな学力

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- ◆各種便り、HP等を通して学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。
- ◆地域の学習を通し、地域に誇りを持たせる。
- ◆中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実する
- ◆共育やコミスクを通して、地域の方々をゲストティーチャーとして招くよう努める。
- ◆図書ボランティア活動の活性化

- ◆「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。
- ◆「わんわん貯金」を活用し、生活習慣の見直しを図る。
- ◆体力づくりを一層促進し、記録会や大会に参加して体力の向上を図る。
- ◆性教育を一層推進する。
- ◆避難訓練や交通安全教室、着衣泳を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- ◆道徳科においても、本校の研究テーマを意識した授業展開を行う。
- ◆QUを軸として、いじめアンケート等を年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・対応に努める。
- ◆ふらわぁ学級の交流をさらに活性化する。
- ◆児童会活動、集会活動、学校行事等でペア活動など子供同士が関わる機会を増やす。

- ◆学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- ◆「貴志南ノート」をはじめ、「貴志南スタンダード」の徹底。
- ◆保護者と協力し「家庭学習の手引き」が活用される手立てを講じる。
- ◆学校での読書時間の確保。
- ◆自学ノートをより効果的に活用するよう研究する。

指標

- ・学校の様子がよく伝わった【HP閲覧数1年間に12000回】
- ・地域学習を学年に応じて1回は行う【教師100%】

- ・朝ごはんを食べた【児童95%】(わんわん貯金)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践する【教師95%】

- ・「わたしは学校が楽しい」【児童95%】
- ・「命の大切さや社会の決まりについて教えてもらっている」【児童95%】 ※上記2点は評価アンケート
- ・QUの学校生活満足群【85%】

- ・県学習到達度調査等の無答率の改善【前年度比10%↓】
- ・「学校での勉強がわかる」【評価アンケート児童85%】

◎：特に重点的に取り組むこと
◆：目標数値